

## 2022 年度冬季の電力需給の見通しと節電のお願いについて

2022 年 11 月 18 日  
電気事業連合会  
送配電網協議会

今年度冬季の厳しい電力需給の見通しを踏まえ、本年 11 月 1 日、政府の「電力需給に関する検討会合」において、電力需給対策がとりまとめられました。

本年 6 月時点の想定で、東京エリアにおける 1 月の予備率がマイナスになるなど、冬季の電力需給が非常に厳しい見通しとなっておりました。その後、電源の復旧前倒しや補修計画の変更、原子力発電所の定期検査完了時期の前倒しに加え、kW 公募や kWh 公募等の追加の供給力確保策に取り組んだ結果、安定供給に最低限必要な予備率 3%は確保されているものの、依然として厳しい見通しとなっています。

さらに、想定以上の気温低下による需要の増加や、電力設備の計画外停止による供給力の減少のリスク、さらにはウクライナ情勢の影響等による燃料供給途絶リスクが継続していることを踏まえると、電力需給は引き続き予断を許さない状況にあると認識しております。

そのため、事業者として適切な設備保全や燃料確保などの供給面の対策に万全を期すとともに、国の節電プログラム促進事業も活用しながらディマンドリスポンスの普及拡大を図るなど、需要面の対策にも最大限取り組んでまいります。

電気をお使いになる皆さまには、今年度冬季も無理のない範囲での節電をお願いいたします。

2022 年度冬季の電力需給見通し※ (単位 : %)

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	
12 月	14.4	9.2		7.4						44.5	
1 月	7.9	4.1		5.6						33.1	
2 月	8.1	4.9		6.5						34.4	
3 月	12.1	11.5									56.6

※ 10 年に一度の厳寒を想定した需要に対する予備率  
(2022 年 11 月 1 日 電力需給に関する検討会合資料より作成)

<参考> 電気事業連合会「節電情報ポータル」  
<https://www.fepec.or.jp/sp/setuden/>

以上